



電気で飛ぶ旅客機開発へ

宇宙航空研究開発機構（JAXA）は9日、電気を
使って飛ぶ旅客機の技術
開発を目指す組織「航空機
電動化コンソーシアム」を
設立したと発表した。将来
は風力や太陽光などからつ
くった電気を利用し、地球
温暖化の原因となる温室効
果ガスの排出削減につなげ
る。
小型機の開発などから始
め、2040年代には10
0～150席の旅客機での
利用も想定した電動エンジ

JAXAがコンソーシアム

ンを実現する考え。年内に
具体的な目標を決める。エ
ンジンの電動化にはモータ
ーや蓄電池などの大幅な性
能向上と軽量化が必要であ
って、航空産業とのつなが
りが薄かった電機関連企業
など16団体が参加した。
旅客需要が増え続ける航
空分野では、温室効果ガス
の排出を増やさないとの国
際合意が成立するなど、対
策の機運が高まっている。
電機旅客機など新技術の開
発や、従来の航空機の燃料
を節約する経路選び、バイ
オ燃料の導入が急がれてい
る。

2018年7月10日
朝刊

①JAXAとはどんな組織か、漢字で書きましょう。

[

]

②電気で飛ぶ旅客機は、何年ごろ完成する予定でしょうか。

[

]

③電気で飛ぶ旅客機は、どんな形になりそうか絵でかいてみましょう。

年 組 名前